

創業38年 とび土工事業

瀧建設興業株式会社は、新築や新設、改修工事に伴う建設現場の足場の組立や設置したり、解体するお仕事をしています。エリアは千歳市近郊を中心に、大型マンションや学校施設、複合施設、ダムや橋梁、災害復旧などにおける足場工事をしており、北広島市にある「北海道ボールパークFビレッジ」、千歳市にある「Rapidus」新工場でのお仕事もしています。



瀧建設興業株式会社は今現在18歳から60代の方まで幅広い年齢層の社員が働いていますが、平均年齢は30歳で20代の方が多く活躍している年齢層が若い会社です。社員は、出会えた一人ひとりの方に感謝の気持ちをもって接するという会社の理念に沿い、仕事仲間とのコミュニケーションを大切にしているため、職場の上司が優しい、社員同士の仲が良い会社と言える職場環境をつくることができ、仕事以外でも何かあった際には相談し合う強い絆があります。



開発途上国の人材育成支援 26名の外国人就労者

瀧建設興業株式会社には8か国の方々が働いています。弊社は2016年に2名の外国人技能実習生(以下「技能実習生」と総称する)を採用したことを始めとし、技能実習生を受け入れる企業として採用を行ってまいりました。代表取締役である瀧がそれぞれの国に直接足を運び、国柄やご家族の環境、経済面を理解し仲間としてお迎えしています。技能実習生たちが日本で働く理由については、「家族のために日本でお金を稼ぎたい。日本で習得した技術を母国で活かしたい。」といったことを本人たちより聞いています。弊社は、向上心が高く、新しい仕事に積極的に挑戦し技術を学びたいという意欲がある技能実習生たちを、会社全体が一

体となり歓迎をしています。現時点では、技能実習生がベトナム人6名、バングラデシュ人2名、スリランカ人3名、インドネシア人9名、ラオス人3名、ミャンマー人2名、ロシア人外国人就労者1名、日本人就労者を含めると8か国、2023年度中にインドの技能実習生が入社し、9か国の仲間が言語や文化の壁を越えて互いを理解し尊重し合い、助け合いながら働いていきます。弊社は今後の取り組みとして、技能実習生を含めて社員全員に会社のビジョンを共有することをより強固なものとし、生産性の向上と福利厚生の充実、地域や国際社会に貢献できる企業に成長したいと考えています。



瀧建設興業株式会社

愛をもって、関わるすべての方へ幸せを

第61回技能五輪全国大会 北海道代表に選出！！

2023年11月16日、第61回技能五輪全国大会並びに第43回アビリンピック全国大会の北海道代表選手が北海道知事会議室を表敬訪問し、17日から開幕する全国大会に向けて健闘を誓いました。今回の技能五輪全国大会には北海道から7職種15名の選手が、アビリンピックには11名の選手がそれぞれ出場し、とび部門の北海道代表として、瀧建設興業株式会社の篠原照空(しのはらてく)主任が出選出されました。



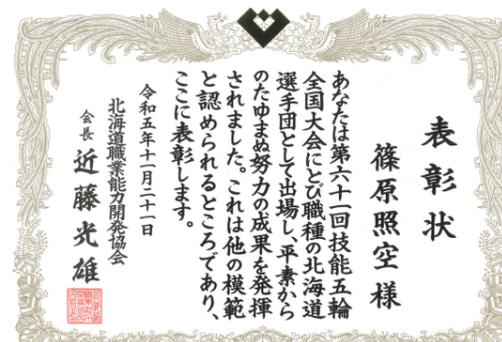
技能五輪とは

国内の青年技能者(原則23歳以下)を対象に、技能競技を通じ、青年技能者に努力目標を与えとともに、技能に身近に触れる機会を提供するなど、広く国民一般に対して技能の重要性や必要性をアピールし、技能尊重機運の醸成に資することを目的として実施する大会です。機械系(9職種)、金属系(5職種)、建設・建築系(10職種)、電子技術系(5職種)情報記述、サービス・ファッション系(10職種)の42種目あり、その中に「とび部門」があります。



第61回技能五輪全国大会 北海道代表 篠原 照空

■プロフィール
年齢：22歳
職歴：入社4年目
役職：工事主任



今回、技能五輪の北海道代表に選ばれて嬉しく思う反面、北海道という広い範囲で一人しか選ばれていないことにすごくプレッシャーを感じましたが、大会で行う課題に必要な材料を買い揃えたり、練習をさせてくれたり、皆さんからアドバイスをいただき頑張ろうと気合が入りました。大会での種目は登り桟橋付き高床式小屋組み、重量物目測、重量物運搬、小屋解体の4種類を行いました。スピード、正確さ、安全性において道外から選ばれた選手たちのレベルの高さを感じました。結果としては入賞を逃しましたが、年齢制限が23歳のため来年も出場し入賞を目指します。応援してくれた皆さん、ありがとうございました。

瀧建設興業株式会社 工事主任 篠原 照空

キャリア学習の実施



弊社ではキャリア学習を実施しています。建物が建つときに関わる人たちの仕事にはどのようなお仕事があるのか伝える機会として、市内の小学校・中学校を対象に2023年度7月からスタートしました。私たちの会社では危険が伴う大変なお仕事をしているという事実と、安全にお仕事をするために行っていることや実際にどんな現場に携わっているかをお話しています。講話の後に体育館を広く使って実際に足場を組み立てるところを見ていただきます。子供たちからは「こんなに早く組み立てられると思わなかった。すごかった。」というような感想が多く聞こえてきました。実際にヘルメットとハーネスを付けて足場に乘ってみるという体験については、「恐かった。ヘルメットや命綱を付けることの大事さを実感した」という生徒さんと「足場に乘るのが楽しかった。建設のお仕事がしたいと思った。」という声を聞くことができました。

そして、職業体験として実際に中学生を対象に現場でのお仕事体験も行いました。最初は緊張感が表情から伝わってききましたが、1つ1つの資材を運びまとめる作業などはすぐに慣れてスピーディに行っていました。生徒さんの希望で実際に足場を組む作業を行いましたが、自分たちが組み立てた足場に実際に立ってみるという体験には感動をしている様子でした。資材を運ぶ作業は力を使う大変な作業ですが、すべてを通して楽しかったという感想を聞くことができました。キャリア学習は子供たちだけではなく先生方から、「また来年も実施してほしい。もっと多くの生徒に体験させたい」という声が多く上がり、先生にとっても特別な体験や記憶になるということが分かりました。今後も一人でも多くの子どもたちに働くということや建設業についてお伝えしていきたいと考えております。

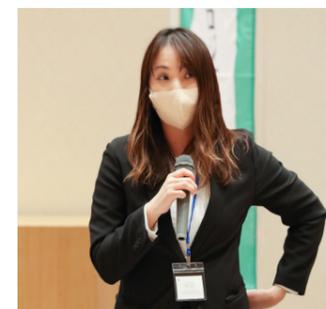


職親プロジェクト

刑務所出所者、少年院出所者一人ひとりの更生を参加企業みんなで支える、そして参加企業が抱えた課題や解決を参加企業や専門家みんなで考え、議論し、互いに支え合う。日本財団職親プロジェクトは、参加企業、法務省、矯正施設、専門家など、様々なメンバーで、再チャレンジできる社会、犯罪被害に悲しまない社会を目指しています。犯罪は許されることではありません。しかし、今再犯率が2人に1人であり、再犯を防がない限り、犯罪被害で悲しむ方はなりません。



そして、一度罪を犯した者は、本当に気持ちを改め、罪を犯さぬよう社会復帰しようと望んでも、社会の厳しい目や反発などが原因で、叶わないのが日本の現状です。それは、刑務所出所者や少年院出所者が幾度と犯罪を重ねる悪循環に繋がります。その悪循環は、大きくなればなるほど犯罪の被害に悲しむ人が増えることに他ならず、日本が安心・安全な国になるためには、再犯を防ぐことは欠かせません。



協力雇用主会

弊社は千歳地区の協力雇用主会に入っており、代表取締役の瀧は千歳地区の会長を務めております。主に、犯罪を犯した者等を雇用し社会復帰に協力することを目的として。犯罪をした方を雇用しています。また、保護司や他団体と協力し、赤い羽根募金実施し社会を明るくする運動について発信をしています。雇用主会に入っていると保護観察が必要な方を雇用した際など国の支援を受けることもできます。再犯や非行をした人は必ず地域に戻ってきます。

再犯者の70%は無職で有識者に対する無職の数は4倍ともあり、雇用することが大事だということが分かります。



愛をもって、関わるすべての方へ幸せを



瀧建設興業株式会社
代表取締役 瀧 雄一

- ・千歳地区協力雇用主会 会長
- ・千歳市保護司会 北分区 保護司
- ・千歳市立千歳第二小学校 PTA副会長
- ・千歳商工会議所青年部 監事
- ・(一社)千歳青年会議所 顧問

【会社概要】

本店所在地 〒066-0078

北海道千歳市勇舞6丁目6番6号

従業員数 約55名 (20代後半から30代前半が中心)

事業内容 札幌近郊を中心に大型マンションや学校施設、複合施設、ダムや橋梁などにおける新築・新設・補修工事に伴う足場組立。その他、現場不随業務

